

# 10. 学力試験等・実技試験

## I. 学力試験等の出題範囲

2025 年度入試は新教育課程と旧教育課程の共通範囲から出題します。  
2026 年度入試以降は新教育課程から出題します。

選抜区分	試験科目名	新課程における出題範囲	旧課程における出題範囲
学校推薦型選抜 推薦 A 方式, B 方式	現代の国語	現代の国語	国語総合（古文・漢文を除く）
	化学基礎	化学基礎	化学基礎
	生物基礎	生物基礎	生物基礎

選抜区分	試験科目名	現行課程における出題範囲	旧課程における出題範囲
学校推薦型選抜 推薦 K 方式（広域型）	国語	現代の国語 言語文化（古文・漢文を除く）	国語総合（古文・漢文を除く）
	英語	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ
	数学Ⅰ A	数学Ⅰ 数学 A	数学Ⅰ 数学 A
	数学	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学 A 数学 B	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学 A（場合の数と確率, 図形の性質） 数学 B（数列）
	化学	化学基礎 化学	化学基礎 化学
	生物	生物基礎 生物	生物基礎 生物
	物理	物理基礎 物理	物理基礎 物理

選抜区分	試験科目名	現行課程における出題範囲	旧課程における出題範囲
一般選抜 前期 A, B 一般選抜 中期	国語	現代の国語 言語文化（古文・漢文を除く）	国語総合（古文・漢文を除く）
	英語	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ
	数学	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学 A（場合の数と確率のうち期待値を除く）	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学 A
	化学	化学基礎 化学	化学基礎 化学
	生物	生物基礎 生物	生物基礎 生物

選抜区分	試験科目名	現行課程における出題範囲	旧課程における出題範囲
一般選抜 後期	国語	現代の国語 言語文化（古文・漢文を除く）	国語総合（古文・漢文を除く）
	英語	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ
	数学ⅠA	数学Ⅰ 数学A	数学Ⅰ 数学A
	数学	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学A 数学B	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学A 数学B（数列）
	化学	化学基礎 化学	化学基礎 化学
	生物	生物基礎 生物	生物基礎 生物
	物理	物理基礎 物理	物理基礎 物理

## Ⅱ. 実技試験の内容および持参物

鉛筆デッサン：モチーフは静物

イメージ表現：与えられるテーマから自由に発想し、絵と文章（200字以上）で表現する試験となります。  
テーマは“擬音”をイメージしたものを出题する

芸術学部の実技では、次のものを持参してください。なお、用具の貸し出しは行いません。

（○：必要，×：不可，△：任意）

実 技	受験生が持参するもの									大学が準備するもの
	カルトン またはパネル (画用紙を固定 できる大きさ)	鉛筆	消し具	鉛筆を 削るもの (電動式は 使用不可)	測り棒 (デスケールは 使用不可)	フィキサチーフ (定着液)	クリップ 画びょう	羽ぼうき 布 ガーゼ 擦筆 ティッシュペーパー	彩色用具 (色鉛筆、 マーカー)	
鉛筆デッサン	○	○*1	○	○	△	△	△	△	×	・B3画用紙 ・モチーフ
イメージ表現	○	○*2	○	○	×	△	△	△	○*3	・A3画用紙 ・問題文 ・下書き用紙

\*1 鉛筆以外（木炭、チャコールペンシル等）不可

\*2 イメージ表現については、シャープペンシルの使用も可

\*3 水彩・油彩などの絵具は使用不可

次年度以降の受験生の参考のために、  
高得点の実技試験作品を大学 Web サイト  
等に掲載いたします。

## Ⅲ. 学校推薦型選抜、一般選抜における問題作成方針

本学の学校推薦型選抜および一般選抜では基本的な知識・技能の理解の程度のほかに、高等学校学習指導要領を踏まえた「言語活動」を通して育成された「思考力・判断力・表現力」を評価するため、自らの考えを立論し、それを表現できるかなど、受験者の能力を総合的に測定できるような記述式問題を作成し、全学部にて出題します。

## Ⅳ. 入試過去問題活用宣言について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しています。

本学のアドミッションポリシーを実現するため、入学試験問題について、必要と認める範囲内において、「宣言参加大学」および「提供大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題する場合があります。ただし、必ず使用するとは限りません。

入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、全入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。